

「格差社会の中で広がる日本の貧困」

一人親家庭では食費抑制・受診抑制も

＊ ＊ 2015年国際女性デー岩手県集会 ＊ ＊

岩手医労連

女性部ニュース

講師の小野寺けい子先生



2015年国際女性デー岩手県集会は、3月8日盛岡市総合福祉センターで開催され、県内各地から80名（医労連から4単組・12名）が参加しました。講演は川久保病院小児科医の小野寺けい子さん。「格差社会の中で広がる子どもの貧困」をテーマにパワーポイントで各国と日本の比較

家庭での貧困率がひどく、食費抑制・受診抑制が起きている実態が報告され、今の社会保障制度では、子どもが貧困から抜け出すことが難しいことを指摘しました。講演後の職場交流では、保育士から勤務が8パターンあり、持ち帰り残業している実態が話され、児童養護施設では児童1人あたりのスペースがベッドを合わせ1畳半しかなく、プライバシーの保護が難しい状況が報告されました。集会后は、ミモザ色のスカーフを身につけ、花を掲げてアピール行進を行いました。

データを示しながら、日本の貧困率の高さを紹介。特に一人親に

NO. 93

2015年5月10日
女性部長 千葉真由美
盛岡市本町通 2-1-36

岩手県母親大会のお知らせ

日時 6月7日(日)10:00～

会場 キャラホール(盛岡市)

内容 10:00～12:00 分科会

13:00～15:30 全体会

記念講演「人間による人間の
ための経済学」

—希望に抱かれた未来
をめざして—

講師 浜 矩子^{のりこ}さん

参加協力費 1,300円

注) 事前申し込み(抽選)の
必要な分科会があります。

みんなで生理休暇を取ろう!



3月～5月は春の母性保護月間です。

2013年に行われた看護職員の労働実態調査では、岩手は看護師の2人に1人が切迫流産(全国は3人に1人)、10人に1人が流産という結果でした。

生理休暇は女性が持つ妊娠・出産機能を保護するため定められているものです。辛い時は無理をせず休暇を取りましょう。なお、請求を拒否した使用者は罰せられます。(労基法120条1項)